

平成 年 月 日（郵便を出す日）

県 市 町 丁目 番 号

【被通知人の実家等現在の所在地の住所】

【被通知人の現在の所在地の宛名】様方

【被通知人の氏名】殿

県 市 町 丁目 番 号

【通知人の住所】

【通知人の氏名】

通 知 書

貴殿と私の結婚生活につきましては、貴殿の度重なる女性（男性）問題、借金問題などが原因で既に実質上破綻しております。また、貴殿が家を出られ、一方的に別居生活を始めてから ヶ月が経過しており、もはや互いの関係を修復することは不可能です。裁判等の法的手段をもって離婚手続きを行うことも検討いたしましたが、貴殿の対外的な信用も考慮し、本書をもって協議離婚を申し入れます。

なお、離婚にあたり、私の考える基本的条件は以下の通りです。詳細及びその他の条件については、今後、協議の過程で決定していきたいと思っております。

記

財産分与について

基本的には、公平な第三者により夫婦の全財産を鑑定してもらい、その二分の一の額を請求させていただきまます。負債につきましては、私が保証人になっているもの以外は私の関知するところではございませんので、全額貴殿の責任において処理願います。(詳細については協議の過程で決定します)

慰謝料について

金 万円【請求金額】を請求させていただきます。(詳細については同上)

【子供の氏名】の親権について

【子供の氏名】の親権者は私(もしくは被通知人)とさせていただきまます。(詳細については同上)

【子供の氏名】の養育費について

【子供の氏名】が成人に達するまで、1ヶ月あたり 万円【請求金額】の養育費を毎月お支払いいただきます。(詳細については同上)

家財について

貴殿の特有財産につきましては、現在、私が保管、管理しておりますが、至急、処分もしくは移動をしていただきたいと思

ます。遅くとも第一回目の協議で処分についての決定を行いたいと考えていますので、協議に際しては処分・移動に関する貴殿の提案をまとめて来て下さい。

その他の事項について

協議の過程で決定します。貴殿の希望する協議事項があれば、平成 年 月 日までに私宛【もしくは代理人等の住所・氏名】に文書でご提出下さい。

なお、第一回目の離婚協議を平成 年 月 日に【協議を行う場所】にて行いたいと思います。出席の可否及び日程・場所について別途ご希望があれば、平成 年 月 日必着にて、私【もしくは代理人等の住所・氏名】宛に確定日付のある文書にてご提出ください。上記文書の提出が無い場合は、協議に関する申入れについて同意をいただいたとみなしますので、その際は必ず協議にご参加下さい。万一ご参加いただけない場合は、直ちに法的手段による離婚手続きへ移行させていただきま

すので、ご承知おき下さい。

以上